

船舶事故等調査報告書

平成23年9月29日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011広第73号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成22年10月11日 06時35分ごろ	
発生場所	島根県浜田市浜田港北西方沖 浜田港西防波堤灯台から真方位297° 5.4海里付近 (概位 北緯34° 55.2' 東経131° 57.0')	
事故等調査の経過	平成23年4月22日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船船番号、船舶所有者等</p> <p>A 漁船 <sup>ほうせい</sup>鳳盛丸、19.0トン NS2-15560（漁船登録番号）、個人所有</p> <p>B 漁船 <sup>きよ</sup>清丸、0.9トン SN3-20087（漁船登録番号）、個人所有</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 船長A、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定</p> <p>B 船長B、二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定</p>	
死傷者等	なし	
損傷	<p>A 右舷船首部に擦過傷</p> <p>B 右舷船尾部に擦過傷</p>	
事故等の経過	A船は、船長Aほか1人が乗り組み、操業を終え、浜田港北西方沖を約10ノット（対地速力）で自動操舵により南東進中、船長Aが、操業の疲れからぼんやりしたまま船橋当直に当たっていたことから、前路で漂流中のB船に気付かず航行し、平成22年10月11日06時35分ごろ、A船の右舷船首部と船長Bが1人で乗り組んで漂流して操業準備中のB船の右舷船尾部とが衝突した。	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 東北東、風速 約3m/s</p> <p>海象：海上 穏やか</p>	
その他の事項	船長Bは、本事故ののち、別の事故により死亡した。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>A船は、浜田港北西方沖を南東進中、船長Aが、操業後の疲労した状態で船橋当直に当たり、適切な見張りを行っていなかったことから、前路で漂流中のB船に気付かなかったものと考えられる。</p> <p>B船は、漂流して操業の準備中であったものと考えられるが、船長Bから情報が得られなかったため、衝突に至る状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	本事故は、浜田港北西方沖において、A船が南東進中、B船が漂流中、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。	